

平成29年度 第2回 東市民センター運営審議会 議事録(要旨)

1. 日時 平成30年3月22日(木) 14時30分～16時30分
2. 開催場所 東市民センター(なみきスクエア)
3. 出席委員 12名(岡, 花田, 扇, 石川, 丸岡, 崎村, 白石, 三宅, 熊谷, 渋谷, 田村)
4. 指定管理者 名
5. 事務局 東市民センター館長 外5名
6. 議事内容
 - (1)事務局あいさつ
 - (2)議 題
 - ①平成29年度施設利用状況及び主催事業の実施状況について
 - ②平成30年度運営方針及び主催事業体系案について
 - ③指定管理者の施設運営に関する取組状況等について
 - ④その他

①平成29年度施設利用状況及び主催事業の実施状況について

【委員】市博物館の会議に出席したとき、館長が東区歴史再発見事業について話をしていた。東区は歴史好きの方が多くいるので、この事業はとてもいい事業だと思う。

【委員】団体別利用状況について、全体の人数は増えておりいいと思うが、生涯学習推進課主催事業の参加者数が減っている。今年度の事業が2、3月など年度末ぎりぎりに実施されている。期間をならして実施した方がよいと思う。

【事務局】今年度は体制等の問題があって、後半に事業が集中してしまった。30年度は計画的に期間をならして実施していきたい。団体別利用状況については、なみき芸術祭等、数千人単位のイベントをカウントしていないので、このような数字になったと考えられる。

【委員】外国人との交流推進事業について、参加人数が少ないように思う。子育て支援事業について、スキルアップ講座は定員数くらいの参加者がいるが、サポーター養成講座は参加者数が少ない。スキルアップ講座の方が需要があり、学びたいという人も、増えているのではないかと推測できる。公民館とは何か連携して行っているのか。

【事務局】外国人との交流事業について、一見すると少なく感じるが、実習室2(調理室)の定員が最大24名で、参加者とスタッフを合わせると定員ぎりぎりになる。子育て支援事業のサポーター養成講座は、参加者が少ないこともあり、やり方を見直すことにしている。

【委員】公民館との連携についてはどうなのか。

【委員】子育て支援事業に関しては、公民館にも同じように声掛けをしている。

【事務局】サポーター養成講座では、公民館の子育てサロンに現地実習に行くなど、連携

を行っている。

【委員】公民館事業に参加する人もいる。区主催事業と公民館事業と似ているものがあるので、連携できたらいいと思う。

【委員】公民館を主体として活動している子育て支援団体(子育てサロンなど)と、東市民センターで活動している団体(かすみ草など)の横のつながりはあるのか。

【委員】公民館と市民センターと両方で活動している人も多くいるので、そこでつながりはある。

【委員】公民館とセンターの子育て事業で、接点や情報交換できる機会があればいいと思う。

【委員】子育て支援事業では、地域で活動しているボランティアが多く集まるので、このようなときにしか交流する機会はない。

【委員】子育て支援事業が、子育て支援に関わるボランティアの交流の場になっているようだ。昔は市民センターが公民館を支援するポジションにあり、連携が強かったが、生涯学習推進課と公民館が連携をとるのが難しくなっている状況なので、情報交換ができる機会があればいいと思う。子育て支援事業は、市民センターにも、公民館にもあるので、市民センターと公民館の緩やかなつながりがあるといい。

【委員】28年度の事業でA評価のところは、今年度はどうだったのか。

【事務局】28年度は神戸金史さんの講演会で、好評だった。今年度は人権尊重啓発活動交流会事業で好評だったが、隔年でやり方を見直す予定である。

【事務局】人権尊重啓発活動交流会事業は、交流会→講演会→交流会と1年おきに実施している。28年度は神戸金史さんの講演会で、評判も良くA評価だった。今年は交流会で、各校区の人尊協の委員が出席し、情報交換の場となっているので、単純に人数が増えるものではない。

(2)平成30年度運営方針及び主催事業体系案について

【委員】国は、機構変更しようとしており「生涯学習」という言葉が今後消えていく。東市民センターは社会教育の場として、何をなすべきなのか問われる状況になっている。生涯学習推進課だからこそできる、地域づくりは何なのかという事を、今一度明確にしていかなければならない。

【委員】地域活動を担う人材の育成は、今、1番大きな問題である。

【委員】区だからできること、なみきスクエアだからできることがあるのではないか。

【委員】公民館との接触はあるのか。公民館と集会所、公民館と市民センターで事業等が被っているのもあるが、すり合わせるようなことはないのか。

【事務局】なみきホールで開催する人権関係の講演では、広く聴いてもらえるように、公民館では普段呼べないような人を招いて講演している。

【委員】人権担当の方は公民館に普段から足を運んでいて、公民館の状況やどのような活

動を行っているか把握できている。公民館と一味違う、区としての人権講座を情報として持っており、共有できているようだ。地域づくりにおける人権の観点はどうなのか。

【事務局】人権がすべての活動のベースになっていることを、公民館では話している。

【委員】子育て支援事業を通して、東市民センターに公民館の子育て交流サロンや子育てプラザ、各ボランティア団体が集まり、情報交換ができています。横のつながりもあるので、子育て支援に関しては、公民館との連携がうまくいっていると思う。子育て支援講座は、(サポーター養成講座とスキルアップ講座の)両方に参加している人も多く、分ける必要は特にないと感じる。来年度は統合されるが、初心者がいきなりスキルアップということにもなりかねないので、講座の内容を工夫して実施してほしい。

【委員】どのような工夫ができそうなのか。初級と中級はかなり違うと思う。

【事務局】最初は難易度が低く、回を進むにつれて難易度を上げていくことになると思う。また、原則4回全部参加としていたものも、参加したい回のみ申し込みできるように工夫していきたい。

【委員】社会的包摂は他区にない斬新な取組で大変いいと思う。人権も絡めて、東市民センターが先進的な事例、取り組みを発信することによって、社会的影響力を発信していくことができる。

【委員】事業で呼んでいる講師を公民館でも呼ぶ、ということはあるのか。

【事務局】事業に関しては、公民館ときちんと情報交換し、連携している。

【委員】市単位、区単位で講演を聞いて、よかったと思う講師を自分の校区に呼ぶ、というのは、人権研修はうまくできている。地域における役員のなり手や地域での包括的な連携が少ない。人材の掘り起しをぜひ行ってほしい。

【委員】ヤングシルバーを対象にした、自分ならやれるかも、と思うような取り組みをしていかなければならない。

【委員】50代が動く地域が動くというが、今は60~70代が中心になっている。

50代がターゲットなのかもしれない。

【委員】団塊の世代が60代で、現在も仕事をしている人が多い。60代で地域に帰ってきてほしいと思うが、働いている人が多いのが現状である。

【委員】フルタイムでなくても20~30%でもいいので、地域活動に参加してもらえたらと思う。

【委員】地域支援課の地域人材発掘事業等で、魅力ある事業を行って、ぜひ(いい人材に)参加してもらいたい。

【委員】地域の担い手不足に一番悩んでいる。地域支援活動事業をオープンに開催してもらおうとありがたい。担い手を探すのに、今は一本釣りしかない。50、60代にボランティア講座を受けてもらって、活躍してもらったらありがたい。

【委員】東区の特性を考えて、ターゲットは大学生だと思う。大学生は災害発生時もボランティアのときも進んで参加するし、自分の地元に戻ったときにも還元してくれる。募集

だけに頼るのではなく、課題対策として講座を開講し、東区の特性にフォーカスを当てた事業を行ってほしい。

【委員】地元に戻ってくる大学生は、非常に戦力になると思う。そのような人を対象にした講座を行ってほしい。

【委員】東区の3大学と地域との連携事業でできることは何か、ということも大学側も公民館側も考えていかなければならない。

(3) 指定管理者の施設運営に関する取組状況等について

【委員】Youtube等で事業風景を配信して、みんなが見るようにすることは可能なのか。

【指定管理者】可能である。現在ホームページを新しく更新しているので、今後行う事業については動画も掲載していきたいと思う。